

川越市 スポーツ協 だより 第34号

令和五年度定時代議員会

令和五年度川越市スポーツ協会定時代議員会が五月二十七日（土）初かり亭ホールで開催されました。



牛久保会長からは「令和四年度は市制施行百周年という節目の年、また、スポーツ活動再開の年として、スポーツ協会の主催事業、協力事業のほとんどを再開することが出来た。五月には、新型コロナウイルスも五類に移

行となり、今年度はより一層充実した活動を実施できると考えている。皆様にはスポーツ界の先達として引き続きご支援ご協力をお願いしたい。」との挨拶がありました。

開会後は、少林寺拳法協会の吉野広二氏を議長として選出し、審議に入りました。

議案は令和四年度事業報告、決算報告、令和五年度事業計画案、予算案の審議と続き、原案通り可決されました。



第一回理事会報告

第一回理事会が六月七日（水）に市役所七階A B会議室で開催されました。

《報告事項》

①定時代議員会及び懇親会会計報告について
《協議事項》

①令和五年度役員選出について（案）

②令和五年度専門委員会について（案）

③今年度事業について
第七十六回川越市民体

育祭総合開会式について
六月十八日（日）に川

越運動公園総合体育館にて開催する。

・視察研修会について
七月二日（日）に開催

する。

・スポーツ指導者養成講習会（本部事業）について

七月十六日（日）に川越運動公園総合体育館会議室にて開催する。

・第二十回川越市生涯スポーツフェスティバル及び小江戸川越ハーフマラ

ソン2023について

今後の会議等において随時報告する。

第七十六回市民体育祭総合開会式

第七十六回川越市民体育祭総合開会式が六月十八日（日）に川越運動公園総合体育館で開催されました。



開会に先立ち、スポーツ協会加盟三十三団体とスポーツ少年団が入場行進を行いました。

新保正俊大会副会長の開会宣言に続き、川合善明大会会長が挨拶を述べられました。その後、選手を代表して、空手道連盟の正木葵さんが選手宣誓を行いました。



体操連盟の五代儀研司さんを講師に迎えてラジオ体操を行い、牛久保努大会副会長が閉式のことばを述べ、無事閉会しました。

視察研修会

視察研修会が七月二日（日）に五年振りに開催されました。

今回は東京オリンピック・パラリンピックの競技会場を視察しました。大型バスに乗り込み川越市を出発し、初めに向かった先は、海の森水上競技場です。艇庫棟には、二百艇のカヌーやボートが保管されていました。

競技用のカヌーは想像していたより軽量で、水上でコントロールするには相当な技術が必要だと感じました。二階にはトレーニングルームや宿泊施設、食堂があり、館内は多摩産の杉が使用されていました。グランドスタンド棟は二千の観客席を有し、車いす使用者席や優先席も十分に確保されており、全ての人のために利用しやすい設計になっていました。



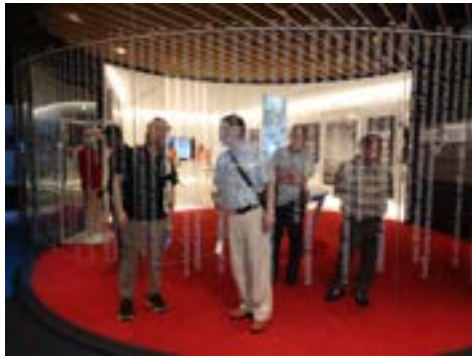
グラウンドニッコー東京台場で昼食を楽しんだ後は、有明テニスの森公園を視察しました。こちらの施設は、センターコートである有明コロシアム

のほかショールコート、インドアコート、屋内コートを揃えた国内有数のテニス競技施設です。現在でも国際大会から一般利用まで、テニスの拠点施設として多くのプレーヤーに親しまれています。施設は国際大会を開催するための厳しい基準を満たしており、大会運営を円滑にするためのコートレイアウトや会議室等の数や配置、会場動線、電源確保等、ち密な設計がされていました。



最後に訪れたのは日本オリンピックコミュニティアムです。国立競技場の向かいにあるこちらの施設は、オリンピックを知

る、学ぶ、感じる、挑戦する、考えるをテーマに、歴代大会のトーチやメダル、実際に大会で使用された選手の用具等、様々な展示がされていました。また、競技の動きを体験するコーナーでは、腕に覚えのある参加者がオリンピックの身体能力に挑戦していました。



今回は日帰りでの開催となりましたが、充実した視察研修となりました。

スポーツ指導者養成講習会

スポーツ指導者養成講習会（本部事業）が七月十六日（日）に川越運動公園総合体育館で開催されました。

今回は一般財団法人明治安田健康開発財団・健康増進支援センターの下村有希先生に講師をお願いし、「アスリートのための健康づくり栄養講座」というテーマで実施しました。



下村先生は管理栄養士・公認スポーツ栄養士として、行政等での健康指導や高校部活動での競技力向上に向けたサポートをしてこられました。

その経験からアスリートの基本であるエネルギーの必要摂取量や体重の増減による食事量の確認方法、補食の活用方法、水分補給の目安等についてご講義いただきました。



また、講習会の前後では、野菜摂取量測定器ベジチェックによる野菜摂取の充足度を測定しました。日頃の食生活について見直す良いきっかけになりました。

今回の講義内容を今後のスポーツ現場での指導やコンディショニング等にご活用いただければと思います。

編集後記

前期号（三十四号）をお届けします。今年度もよりよい広報活動を目指し、役員一同、活動して参りたいと思います。

発行 川越市スポーツ協会